令和８年度

かんなんキッズニュース

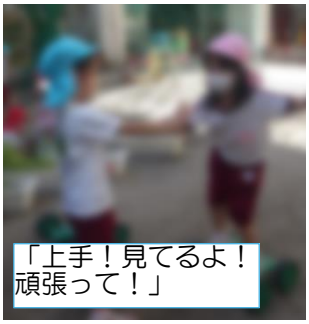
そら組　第６号 R8.１１.2

大阪市立菅南幼稚園

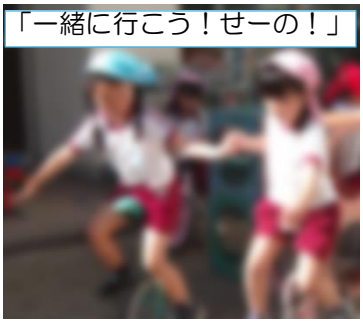
運動会と運動会後の子どもたち

運動会、ご協力ありがとうございました。たくさんの温かい声援に子どもたちは大きな達成感を感じています。晴れ舞台でやりきったこと、悔しい思いや、嬉しい思いをしたことなど、いろいろな気持ちが、そら組のことをまた一つ大きくしてくれましたね。身体の成長はもちろんですが、心の成長が何よりも嬉しいです。諦めずに最後まで頑張る根気強さ、友達に寄り添ったり励ましたり、友達の喜びを一緒に嬉しく喜ぶ温かい心などが育ちました。みんな素敵なお兄さんお姉さんになってきていますね。

運動会後は、あか組ともも組にパラバルーンやリレーを教えてあげました。あか組も、もも組も、そら組に対する憧れの気持ちが強く、「そら組さんはすごい」「そら組さんはかっこいい」と言ってくれています。それはいつもそら組が年下の友達に優しく接しているからこそだと感じます。あか・もも組にリレーを教えていたときも、そら組としてはルールを守ってほしいと願って教えてくれていたのですが、走るのに夢中なあか組たちはなかなかルール通りにはできませんでした。「初めてだししょうがないね」「小さい組さんやからな」と折り合いをつけ、「頑張ったね」と優しく声をかけていました。一輪車やペダルローラーにも挑戦する小さい組のことをいつもどこかで見守っており、そばにいなくても、上手くいったときや頑張ったときにはそばへ行って「見てたよ。すごいね」と声をかける、本当に優しくて頼もしいそら組の子どもたちです。



「上手！見てるよ！頑張って！」



「一緒に行こう！せーの！」





「上にあげるよ！」

西天満小学校のお兄さんお姉さん

５年生に絵本の読み聞かせをしてもらいました。ちょっとドキドキしながらも、皆優しく穏やかに絵本を読んだり、子どもたちの気持ちを聞いたり、とてもほっこりとした時間を過ごすことができました。校庭でも一輪車の手を引いてくれて、そら組の速さに合わせてくれたり、「すごいね」と褒めてくれたりして、温かく寄り添ってくれました。

幼稚園では一番大きいお兄さんお姉さんとして、年下の友達に優しくしてくれているそら組ですが、自分たちがあか組、もも組だったときに優しくしてくれた年上の友達の存在があって、今があります。そして今も、小学校のお兄さんお姉さんから優しい気持ちをもらって、その喜びを感じるからこそ、自分たちも年下の友達に優しくしたいという気持ちが育っていくのでしょうね。小学校に行っても、いろいろな環境で過ごす中で、優しさの連鎖の一端を担っていけるような人になってくれると信じています。

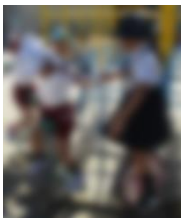




「お兄ちゃん
お姉ちゃん
優しかったよ」









「おばけちゃんだよ～」



お部屋遊び

カプラもラキューもどんどん細やかなつくりかたをするようになってきて、集中力も長くなっています。友達と一緒に考えたり工夫したりしてつくることも楽しいようです。おばけの遊びも、今度は布のパペットに一人一人自分だけのおばけちゃんをつくりました。まるでイマジナリーフレンドのように連れ歩いて遊ぶ姿が見られます。「おばけのパーティーをする！」と箱や芯などの素材を使ってパーティーづくりがはじまっています。つくって遊ぶことが大好きなそら組。作品展も楽しいものをたくさんつくれるといいなと思っています。



「めっちゃすごくなってきたな～」



「おばけの玉入れ～！」





「おばけちゃん見せて」